

Course number		U-LAS01 20003 LJ38					
Course title (and course title in English)	前近代日本の法と秩序 Law and Order in Premodern Japanese Society			Instructor's name, job title, and department of affiliation	Graduate School of Law Associate Professor,TAKATANI CHIKA		
Group	Humanities and Social Sciences		Field(Classification)		History and Civilization(Issues)		
Language of instruction	Japanese		Old group	Group A		Number of credits	2
Number of weekly time blocks	1	Class style	Lecture (Face-to-face course)		Year/semesters	2025・First semester	
Days and periods	Thu.2		Target year	All students		Eligible students	For all majors
[Overview and purpose of the course]							
<p>近代社会は、公権力による法や裁判によって、秩序が保たれている。しかし、前近代社会においては、統一的な公権力・法・裁判のいずれもが不十分なまま、直面する諸問題に対し、臨機応変に法や秩序が模索されていた。</p> <p>この授業では、日本の前近代社会の秩序形成について、近代の法や裁判のあり方と比較して評価するのではなく、前近代社会に強く浸透していた、宗教・文化・慣習などの役割に焦点をあて、そこに共存する合理性と非合理性・そこから生まれる法や秩序を通して、「異文化としての歴史」を学ぶ視点を涵養する。</p> <p>そして、前近代社会で生まれた多様な法や秩序を、ありのままにみてゆくことによって、現代社会において、さまざまな制度設計や改革の背景として語られる、一般的な「日本の伝統」「日本人の法意識」といったイメージを見直し、相対化することができるだろう。それは歴史を学ぶ面白さの一つである。</p>							
[Course objectives]							
法制史学の方法論および諸隣接分野との学際的研究・比較検討の方法論について理解する							
[Course schedule and contents)]							
導入							
第1回～第2回 イン트로ダクション							
近代の法や裁判と、古代・中世・近世の「法」「裁判」の比較を通して、現代のわれわれが「異文化としての過去」をどのように見るべきか考える。							
第3回 中国における徳治と法治、律令の形成							
第4回 日本における律令の移入							
第5回 集団とネットワークの法のはじまり							
第6回 御成敗式目							
第7回 自力救済をめぐる諸問題							
第8回 起請文の位置づけ							
第9回 神判の比較史							
第10回 文書主義							
第11回 共同体の法							
第12回 分国法							
第13～第14回 中世から近世へ、そして近代へ							
----- Continue to 前近代日本の法と秩序(2) -----							

前近代日本の法と秩序(2)

[Course requirements]

None

[Evaluation methods and policy]

授業で紹介した文献の中から 1 冊（新書・選書など）を選び、レポートを提出。

【評価基準】＊平成26年度以前のカリキュラムの適用学生

到達目標について以下の評価基準に基づき評価する。

80～100点：目標を十分に達成しており、優れている。

70～79点：目標について標準的な達成度を示している。

60～69点：目標につき最低限の水準を満たすにとどまる。

0～59点：目標について最低限の水準を満たしておらず、さらに学習が必要である。

【評価基準】＊平成27年度以降のカリキュラムの適用学生

到達目標について以下の評価基準に基づき評価する。

96～100点：目標を十分に達成しており、とくに優れている。

85～95点：目標を十分に達成しており、優れている。

75～84点：目標について良好な達成度を示している。

65～74点：目標について標準的な達成度を示している。

60～64点：目標につき最低限の水準を満たすにとどまる。

0～59点：目標について最低限の水準を満たしておらず、さらに学習が必要である。

[Textbooks]

授業中に適宜指示する。プリント等を配布する。

[References, etc.]

（References, etc.）

高谷知佳・小石川裕介編『日本法史から何がみえるか』（有斐閣）

[Study outside of class (preparation and review)]

授業で紹介した参考文献等を読んで復習する

[Other information (office hours, etc.)]

[Essential courses]